

長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

会議名	市民フォーラム21 第8回 環境部会
日時	平成23年4月27日（水）午後3時15分から午後5時まで
会場	長野市役所 第一庁舎8階 第1委員会室
出席者	作業部会員 （敬称略）
	関係課員

I 会議次第

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 市民フォーラム21 第7回 環境部会 会議概要について **【別添資料】**
- 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画 施策の目標及び主な取組について
【環境分野】 **【資料1】【資料2】**
- 6 第四次長野市総合計画 後期基本計画に係る指標について
【環境分野】 **【資料3】**
- 7 報告事項 **【資料4】**
 - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画 目標等について
 - (2) 市民意見の聴取結果等について
 - (3) 国勢調査結果の速報について
- 8 その他
- 9 閉会

II 会議の概要（主な決定事項、質疑等）

- 4 市民フォーラム21 第7回 環境部会 会議概要について
【別添資料】 のとおり確認した。
- 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画 施策の目標と主な取組について **【資料1】【資料2】**
 - ① 施策221-01 エネルギーの適正利用の主な取組①「ライトダウン」の注釈内容で、家庭における電気を消してという表現が適切なのか。
⇒ 屋外や家庭における不要な照明を消して電力消費を抑えることと修正すればどうか？
⇒ 必要であっても消すのがライトダウンではないのか。
⇒ ライトダウンキャンペーンということで、夏至と冬至の前後一定期間 その間なるべく照明を消して、必要最低限な光で生活をしてもらおうという取組を行っている。ライトダウンを言葉で定義するのは、なかなか難しい。

- ⇒ 職場でも残業を止めて、あえて照明を使わないようにするのがライトダウンではないか。
- ⇒ とすると、主な取組①では、ライトダウンキャンペーンについて取り組んでいくのか、不要な照明を消して電力消費を抑える取組を行っていくのかで、ライトダウンという言葉の意味合いが異なってしまう。キャンペーンが取組の主旨でなければ、主な取組①の表現は、不要な照明を消して電力消費を抑えることを強調した内容に修正した方が良いのではないか。
- ⇒ 今のご意見、もったもであるので、ライトダウンという言葉は使わないで、不要な照明を消す主旨の表現にしたいと思う。
- ⇒ 不要な電気を消すのは当たり前、そうではなくて、必要以上に電力を消費している普段の生活を見直す姿勢が問われているのではないか。
- ⇒ そうすると、主な取組①の文章の組み立てがおかしくなる。冷暖房についても、温度設定の適正化ということではなく、冷暖房をできる限り使うなどという内容にしなければならなくなる。ライトダウンという特別な文言を使わず、不要な電気を使わない旨の表現にした方が、主な取組①の主旨に合うのではないか。
- ⇒ ライトダウンという言葉を使わないのは賛成である。
- ⇒ 確認であるが、ライトダウンには、消すだけではなく暗くするという意味は含まないのか。ライトオフなら消すことであるが。
- ⇒ 考え方はそういうことである。真っ暗にしてしまうと今度は防犯上の問題も出てくる。照明を抑える意味合いである。
- ⇒ ライトダウンの意味は、どのように変えてもだいたい理解できると思うので、ライトダウンの注釈にキャンペーンの内容も盛り込んだ方が、市民には分かり易く効果的だと考える。
- ⇒ 意見が変わって申し訳ないが、ライトダウンという言葉も市民に浸透させていきたいので、ライトダウンという言葉を使用しないのではなく、注釈にキャンペーンの説明も盛り込むことで対応させていただきたい。
- ⇒ 内容は事務局で調整させていただき、その上で部会長と調整後、修正する。

② 施策 232-01 安全でおいしい水の安定的な供給、02 公共下水道等の普及促進 の主な取組についての「環境ホルモン」に関する提案で、確認であるが、現在、環境ホルモンについては正確な基準値がないと認識している。資料の長野市（案）では、水道水質基準によって対応していることとなっているが、国内における下水処理場での検出事例もあり、環境ホルモンに対する取組みが抜け落ちていると思う。

- ⇒ 環境ホルモンの発生形態は、農薬や自然界など多岐にわたり、検出事例は下水に限ったことではない。あえて環境ホルモンという項目を入れるのであれば、土壌や河川など様々な箇所でも調査をして市民に情報提供するというのが、総合計画での位置付けと考える。
- ⇒ この文章を変えなくても良いが、かなり大きな環境問題の一つになっていることは間違いないため、こういう視点も加味しながら、今後、対応していただきたいという要望である。
- ⇒ なお、浄水では、資料にもあるとおり水質管理の基準の中に、環境ホルモンに関する基準は 7 項目設けられており、検査をしなければならないことになっている。

③ 資料に文言の漏れがあり、訂正をお願いしたい。【資料 2】 施策 211-02 環境教育と環境学習の推進 主な取組②の文中で、錯誤により欠落させてしまった文言である「体験的な」の追加記載をお願いしたい。

- ④ 注釈の訂正をお願いしたい。施策 221-01 エネルギーの適正利用 主な取組②「ペレットストーブ」の注釈について、冒頭の「おが粉などの」の削除をお願いしたい。
- ⑤ 施策 221-01 エネルギーの適正利用 主な取組② について、長野市(案)では、薪ストーブの支援について盛り込まないこととなっているが、薪そのものの支援、つまり、薪を購入した場合の補助を行っていたように認識している。
⇒ それは、国内排出権取引「J-VER」制度のことである。
- ⑥ 施策 221-01 エネルギーの適正利用 主な取組⑤の文中の「地球温暖化防止活動推進センター」について、下段の注釈では、「長野市地球温暖化防止活動推進センター」と記載されているため、文中の方も「長野市～」とした方が分かり易いと思う。
⇒ ご意見のとおり、「長野市」を付け加えさせていただく。
- 6 第四次長野市総合計画 後期基本計画に係る指標について 【資料3】
- ① 基本施策コード212 良好な自然環境の確保 の基本施策指標(案)は、ホテルを見かけることがある市民の割合 となっているが、ホテル1種類だけでは、生物多様性の指標として対応できていない。佐久市では、市民を巻き込んで20種類ぐらい調査をしている。故に、10種類ぐらいピックアップしないと多様性の指標にならない。また、見かけることがある、ないだけでは、1箇所に集中して見かけることだけになってしまうので、生息・生育地区確認及びそこで見かけることがあるか、ないかにしないと、生物多様性指標にならないと思う。
⇒ これは、あくまでも(案)であり、この指標を設定しようとしているわけではなく、むしろ、他に妥当な指標があれば、提案をお願いしたい。
⇒ この指標(案)は、毎年、無作為抽出の5,000人を対象に実施している まちづくりアンケートで継続して訊いている項目である。その際、難しいことを聞いても結果に反映されないため、一番ポピュラーな種であるホテルを選択しているものである。
⇒ アンケートで聞いているものであれば、このまま基本施策指標にするのは、良いとは思えない。
- ② 基本施策コード 233 緑化・親水空間の充実・創造 の基本施策指標(案)は、二つともハード面の内容であるが、施策では、ソフト重視の取組内容にしてあると思うので、ソフト面の指標も設定する必要がある。
⇒ そういった内容も含め、具体的に提案していただきたい。
- ③ 同じく 233 であるが、基本施策指標(案)は、都市公園を取り上げているが、都市公園イコール豊かな緑化空間ととらえて良いのか。
⇒ とらえ方として、都市公園の整備をすれば、緑化により潤いとやすらぎが感じられることにつながるという考え方である。